

「死亡災害撲滅月間」

実施要領

愛知労働局

1、目的

労働災害の防止については、第11次労働災害防止推進計画（平成20年度から24年度）に基づき、各種施策を展開しているところであり、計画期間の3年目となる平成22年度においては「労働災害の更なる減少のための実施要綱」により対策の取組みを図ってきているが、従来から展開してきた安全衛生総点検運動を見直すことにより、死亡災害が多発する実態にある12月を「死亡災害撲滅月間」として、対策の取組強化を図ることとした。

2、期間

平成22年12月1日から1か月間

3、実施者等

主唱者 愛知労働局及び各労働基準監督署

大会等への指導・援助を行う。

⑤ 小規模事業場を多数有する商工会等の団体に対して、ポスターの配布等を行うとともに、労働災害防止活動の取組みを要請する。

（※特定災害Ⅱ「墜落・転落災害」、「挟まれ・巻き込まれ災害」、「爆発・火災災害」、「交通労働災害」）

① 経営トップ層による職場安全衛生点検やパトロール等を実施するとともに、「死亡災害撲滅月間」ポスターを活用するなどにより、経営トップによる安全衛生確保の決意表明等を行う。

② 安全衛生管理状況を確認するとともに、安全第一の意識啓発を図る。

③ 特定災害の発生するおそれのある作業について安全点検等を行うとともに、その防止対策の徹底を図る。この場合においては、リスクアセスメントの実施促進に取り組む。（下記「特定災害の防止対策点検確認事項の例」参照）

④ 外部の専門家を活用した安全衛生点検等の実施、企業系列等による相互パトロール、合同パトロール等を実施する。

【特定災害の防止対策点検確認事項の例】

- ア、墜落・転落防止
 - 手摺り設置・取付状況
 - 安全帯使用状況、安全帯取付設備状況
 - 階段滑り止め状況
 - スレート等踏抜き屋根上での歩み板設置状況
 - 梯子等の転移防止状況、脚立の安全使用状況
 - 建物等附属タラップの腐食状況
 - 高所への近道等安全な昇降状況
 - 保護帽の使用状況
 - その他
- イ、挟まれ・巻き込まれ防止
 - 安全カバー取付状況
 - インターロック有効状況
 - 機械の不意の起動防止状況
 - 危険個所の表示状況
 - 手用具・工具の確実な使用状況
 - 作業上着の長袖・ズボンの裾の処理状況
 - 駐停車時逸走防止状況（車輪止め常備の確認を含む）
 - その他
- ウ、爆発・火災防止
 - 着火元対策状況
 - 引火性危険物に対する保護状況
 - 溶接火花からの対策状況（火花飛散防止又は可燃物等への覆いだけでなく作業床下の堆積可燃性埃の除去状況を含む）
 - 静電気対策状況
 - 可燃性粉じん取扱設備の対策状況
 - 本来の作業方法又は

- 作業手順の順守状況
- 工事関係者間の作業情報確認状況
- 着火燃焼促進のためガソリン等注ぎ禁止状況、
- 消火設備状況
- その他
- 工、交通労働災害防止
- 交通労働災害防止ガイドラインで示した事項の順守確認状況
- シートベルト使用状況
- 走行時の携帯電話不使用状況
- 走行時カーナビ操作禁止状況
- 車線規制の下での道路工事における往來車両等との接触事故等防止状況
- 休憩時間等運転者の過労防止措置状況
- バイクでは、ヘルメット使用状況（あご紐の締め具合を含む）
- その他

毎年実施
特定の日に
一度、定期的に

我社の安全衛生点検表（全業種対象）

社長・経営
首脳者用

— 平成 年度 —

働く人の安全と健康を確保することは、経営者の最も重要な責務の1つです。近年の急激な景気の後退で、安全衛生管理活動や災害防止に必要な経費が抑制されていないか懸念されるところです。

ついては、今まで培われた貴社の安全衛生管理水準が本年において維持されているかどうか点検し、景気回復が期待される新しい年に向け、その結果を踏まえ更なる安全衛生水準の向上につなげてください。

点検年月日	年 月 日	点 検 者	社長・副社長・専務・常務・役員
-------	-------	-------	-----------------

点検項目（該当しない項目には、チェックする必要はありません。）

1. いわゆる「CSR（企業の社会的責任）」等について

- (1) CSRの一環として、労働災害防止についても説明できる はい いいえ
- (2) 説明できるよう、労働災害対策部署が組織的に確立している はい いいえ
- (3) CSRのため労働安全衛生マネジメントシステムを導入し実施している はい いいえ
- (4) CSRのため、少なくともリスクアセスメントを導入し実施している はい いいえ

2. 安全文化について

- (1) 当社には、安全文化が根付いていると思う（取り組み中である） はい いいえ

3. 自社における安全衛生方針、取組等について

- (1) 労働者の安全と健康の確保のため、自社安全衛生方針を策定し、社内に表明している はい いいえ
- (2) 表明は文書化し、社長室、講堂、会議室、食堂等に掲示している はい いいえ
- (3) 年間安全衛生管理計画は、概ね計画どおり推進している はい いいえ
- (4) 安全衛生確保対策のための予算・資金は、十分だと思っている はい いいえ
- (5) この1年、安全衛生に関する予算を減らしていない はい いいえ
- (6) この1年、安全衛生スタッフを減らしていない はい いいえ
- (7) この1年、安全衛生に係る設備投資を減らしていない はい いいえ
- (8) この1年、安全衛生に関する教育回数を減らしていない はい いいえ
- (9) KY等の自主的安全衛生活動は活発に行っている はい いいえ
- (10) 業務の閑散時を利用し、作業標準の見直し、4Sを実施した はい いいえ

4. 自社の労働災害発生状況等について

- (1) 自社の労働災害発生状況については、概ね把握している はい いいえ
- (2) 自社の度数率・強度率は、全国平均と比べどの位か概ね知っている はい いいえ
- (3) 自社の安全衛生水準は昨年と比べ低下していない はい いいえ